

**令和7年度**  
**社会福祉法人 弘心会**  
**事業活動報告書**



## ユニット型特別養護老人ホーム ほうらい苑

入居者様一人一人の意思及び人格を尊重し、施設サービス計画（ケアプラン）に基づき、その居宅における生活への復帰を念頭において、入居前の居宅における生活と入居後の生活が連続したもの（暮らしの継続）となるよう配慮しながら、各ユニットにおいて入居様が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を支援することを目指します。

平成 20 年 4 月 事業開始

定員 60 名 6 ユニット

令和 7 年 3 月 31 日現在 入居者数 46 名（うち男 9 名、女 37 名）

## ほうらい苑指定短期入所（介護予防短期入所）生活介護

ユニット型指定短期入所生活介護は、利用者様一人一人の意思及び人格を尊重し、指定短期入所生活介護の利用前の居宅における生活と利用中の生活とが連続したもの（暮らしの継続）となるよう配慮しながら、各ユニットにおいて利用者様が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことを支援することにより、利用者様の心身の機能の維持並びに利用者様ご家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを目指します。

平成 20 年 4 月 事業開始

定員 19 名 2 ユニット

令和 7 年度利用者数は延べ 4919 名、1 日平均 13.5 名の利用

## ほうらい苑デイサービスセンター指定地域密着型通所介護・予防給付型通所サービス事業所

要介護状態となった場合においても、その利用者様が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、食事の提供、機能訓練等を行い、利用者様の社会的孤立感の解消及び、心身機能の維持並びに利用者様のご家族の身体的及び精神的負担が解消できるよう支援します。

令和 4 年 5 月より、地域密着型通所介護として運営。

定員 18 名

実施地域 和歌山市

令和 7 年度利用者数は延べ、3,981 名、1 日平均 14.2 名の利用

## ほうらい苑指定居宅介護支援事業所

要介護状態や要支援状態にある高齢者に対して、ケアプラン作成等を行い、適正な居宅介護支援を行います。また、同法人の特別養護老人ホーム（入居・短期入所・通所）を持つ強みを活かし、総合的なサービスを提供します。

介護支援専門員 1 人あたり担当利用者数は 3 5 名以内

実施地域 和歌山市・海南市

令和 7 年度利用件数は、延べ 670 件 要介護 1 : 130 件、要介護 2 : 134 件、

要介護 3 : 147 件、要介護 4 : 174 件、要介護 5 : 94 件

## <令和7年度 重点課題の取り組みと実績>

### (1) ユニットケア・自立支援介護・各委員会・会議の取り組みについて

- ◆ ケアプランに基づいた入居者様の生活のサポート・・・介護支援専門員
  - ・ ユニットミーティングで検討された各入居者様の意向や生活リズムを、ケアプランや 24H シートへの反映
  - ・ 専門職と連携し残存能力を細かくアセスメントした内容を取り入れたケアプランの作成
  - ・ 1年を通して 24H シートの見直しの実施
  - ・ ご家族からの相談や苦情の受付や入居者様の状態などを密にご家族へお伝えする連絡体制の強化
  
- ◆ 自立支援介護（科学的根拠に基づくケア）の取り組み・・・各専門職、ユニットリーダー
  - ・ 自立支援促進加算算定
  - ・ 看護師のフロア配置による個別機能訓練の強化
  - ・ 委託歯科医師による義歯の作成や嚥下能力の向上
  - ・ 自立支援介護（科学的根拠に基づくケア）に関する委員会の開催
  - ・ 入居者様に合わせた車いす、ベットマットレス、ポジショニングクッションの選定・購入
  - ・ 水分摂取の強化、トロミの統一
  - ・ 入居者様の状態に合わせたパットの見直しを強化
  - ・ 自立支援評価表の様式の変更
  
- ◆ 褥瘡予防に関する取り組み・・・各専門職
  - ・ 褥瘡委員会の毎月の開催
  - ・ 褥瘡予防の強化
    - 褥瘡マネジメント加算算定
    - 看護部内でのカンファレンスを実施し、予防と治癒に努めた。
    - 個々の入居者様に合わせたマットの選定、ポジショニングの実施。皮膚状態の観察を強化。
  
- ◆ お食事（栄養ケアマネジメントの強化）に関する取り組み・・・管理栄養士
  - ・ 行事食の提供
    - 「オリジナルソフト食の提供」
    - 個別の対応として、入居者様の要望にお応えしたサービスの実施
    - 「季節の行事」
    - 七夕そうめん・夏祭り・おやつバイキング・節分の巻き寿司・クリスマス・新年会 等
  - ・ 栄養マネジメント強化加算の算定
    - 栄養ケアマネジメントの充実を図るため、多職種連携のもと個別栄養計画の作成・見直しを実施。
    - 定期的な評価と支援強化により、利用者の栄養状態の維持・改善に取り組んだ。
  - ・ 経口維持加算Ⅰの取得
    - 入居者の QOL 向上および嚥下機能の維持・改善を目的として、経口維持加算Ⅰを算定。
    - 医師・歯科医師・看護職員・管理栄養士・介護職員などの多職種による連携体制を整備し、個々の入居者の摂食・嚥下機能に応じた支援を行った。

- ・ 口腔連携強化加算の取得
 

入居者の口腔機能の維持・向上および誤嚥性肺炎の予防を目的として、口腔連携強化加算を算定。歯科医師・歯科衛生士との連携体制を強化し、専門職による定期的な口腔状態の評価を行った。また、介護職員に対する助言・指導を受けることで、日常的な口腔ケアの質の向上を図り、個々の入居者の口腔状態に応じた支援を行った。
  
- ・ 食事委員会の毎月の開催
  
- ◆ 機能訓練に関する取り組み・・・OT（作業療法士）
  - (1) 身体機能を維持していく為の個別機能訓練
    - ・ 利用者様 1 人 1 人に対して直接、関節可動域訓練、筋力増強訓練、基本動作訓練、ADL 訓練、歩行訓練などを提供していくことで、生活のしづらさを改善することや、現状の ADL を維持していく。
  - (2) ポジショニングについて
    - ・ 自力で寝返ることが出来ない利用者様（入居者様）や、褥瘡が発生するリスクのある利用者様に、クッション等を使用して安全で快適な姿勢を保持していく。
  - (3) 新入社員及び介護職員への指導について
    - ・ 新入社員に対して基本動作（寝返り、起き上がり、移乗動作）の介助方法を直接指導することで、入社してすぐに座学での研修を取り入れることで基本的な介助方法や、褥瘡に関する知識を得ることができ、利用者様（入居者様）の安心安全に繋がり、職員の負担も軽減された。
    - ・ 移乗サポートロボット Hug や SASUKE の使い方を指導する事で介護職員の負担軽減に繋がった。
  - (4) 不安な気持ちが強い利用者様・入居者様に対する心のケアについて
    - ・ 入居されている利用者様の大半は認知症を抱えています。「家に帰りたい」「寂しい」といった気持ちを少しでも和らげる為に、積極的にコミュニケーションをとり、各利用者様のバックグラウンドを理解しながら、訴えを傾聴、共感、受容するといった関わり方をしていく。
  
- ◆ ユニットリーダーを中心とした取り組み・・・ユニットリーダー
  - ・ 生活リハビリによる ADL の向上
  - ・ 入居者様の日々の様子を LINE で家族様に送信  
行事の様子や、入居者様の日常の様子を伝える手段の一つとして採用
  - ・ ユニットミーティングの開催
  - ・ 季節の行事開催  
「流しそうめん、運動会、お誕生日会 等」
  - ・ 日常生活での充実  
食器洗い・おしぼり巻き・新聞折り・タオル干し等の日常生活での役割を持ってもらっている。
  - ・ 個々に合わせたレクリエーションの実施  
「イージーウォーク、ヘルストロン、施設内の散歩 等」
  - ・ リーダー間の連携強化と課題共有の推進  
現場のケアの質向上と業務の効率化を図るため、フロアリーダーおよび部署リーダーが定期的集まり、ケアに関する課題や業務上の悩みを共有・相談し合う場を設けた。リーダー同士の連携強化を図り、組織全体の運営の安定化に繋がった。

- ・ ユニットリーダー研修終了の成果  
 ユニットリーダー研修に参加した職員を中心に、各ユニットの環境（しつらえ）の見直しを行った。  
 また、排泄ケアにおけるパットの種類やタイミング、入居者様の目覚めの時間に合わせた生活リズムの再検討など、個々の生活に寄り添ったケアの実践に向けた取り組みを進めた。
  
- ◆ 看護体制の強化・・・看護師
  - ・ 看護師ユニット固定配置の実施  
 ユニット毎に看護師を配置することで、ユニットケアの視点である「一日の暮らし」を大事にしなが  
 なじみの関係を深めることができるようになった。以前は日々違ったユニットを受け持ち、その日その日の対応  
 になってしまっていたが、固定配置をすることによって入居者様一人一人と深く関わることができ、より個別  
 的なケアを実践することができるようになった。また、互いのユニットの報告や相談をすることで状態把握ができる  
 だけでなく、問題点について話し合いケアに活かすことができた。
  - ・ 看護部内でのカンファレンスの実施  
 定期的に部署内でのカンファレンスを実施し、看護の質の向上、統一した看護ケアの実践に努めた。
  - ・ 看護師による機能訓練の強化  
 個別性のある看護計画の一つとして「機能訓練の強化」を行った。四肢の拘縮による介護負担の軽減や  
 下肢筋力維持、認知機能維持を目的としてリハビリテーションに取り組んでいる。
  - ・ 定期的にデイサービスのレクリエーションへ参加し交流を図るとともに、活動性の向上や楽しみを感じて  
 もらえるようにした。
  
- ◆ 認知症チームケア推進加算の算定  
 多職種（介護・看護・機能訓練指導員等）による定期的なカンファレンスを実施し、入居者一人ひとりの  
 状態や行動・心理症状の把握に努めた。アセスメントに基づき個別ケア計画の作成・見直しを行い、  
 環境調整や関わり方の統一を図ることで、安心して生活できる支援体制を整備した。

◆ リーダー会議の開催状況

※介護サービス(全部門)の向上を目的とした情報及び意見交換の場  
 ※事業計画に基づいた施設運営に向けて経営方針の統一と予実績の検討

内容		
令和7年度	4月	3月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 業務改善について 新シフト導入について
	5月	4月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 チーム活動による指針策定について 時間有休導入について 事業報告書について
	6月	5月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 人材確保・利用者確保チームより報告 介護職員検診について 口腔連携強化加算と認知症チームケア加算について 今季賞与支給について
	7月	6月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 人材確保・利用者確保チームより報告 健康アンケートについて 指導ノートの作成について ユニットケア研修の報告
	8月	7月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 人材確保・利用者確保チームより報告 入居者様レントゲンについて デイ公式LINE稼働 面会時の対応について 人事異動
	9月	8月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 人材確保・利用者確保チームより報告 看護部の業務内容について 職員面談について
	10月	9月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 人材確保・利用者確保チームより報告 ナースコール入れ替えについて その他申し送り事項
	11月	10月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 人材確保・利用者確保チームより報告 抗原検査について SNS等の掲載について
	12月	11月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 人材確保・利用者確保チームより報告 看護部への申し送りについて
	1月	12月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 人材確保・利用者確保チームより報告 外出・外泊について 挨拶や声掛けについて リーダー体制について
	2月	1月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 人材確保・利用者確保チームより報告 菓子折り等の心遣いについて
	3月	2月度の実績報告 各フロア及び各部門別の現状報告 職員面談について 人材確保・利用者確保チームより報告 事業計画書について 運営体制の変更について

◆ 各委員会の開催状況

・ **食事委員会**（毎月開催）

目的

- ・入居者様(利用者様)のニーズに沿った食事を提供する
- ・食事の提供マニュアルに沿っての食材管理の徹底と衛生管理の徹底

内容		
令和7年度	4月	花粉症を軽減するための食事
	5月	入居者様・利用者様の手指衛生について 職員の手指衛生について
	6月	梅雨型熱中症と他の熱中症の症状の違い
	7月	嗜好調査結果 脱水注意
	8月	腸内環境を整える食べ物について
	9月	稟議書の書き方について依頼
	10月	食べないときに試したい改善法
	11月	冬の食事と感染症対策 乾燥による誤嚥リスク
	12月	補助食器の紹介、選び方
	1月	検食・検食簿の重要性
	2月	食事ケアの再確認 姿勢や口腔内の様子、ムセの有無等
	3月	腸内環境と花粉症 高齢者施設におけるポイント

・ **自立支援向上委員会**（毎月開催）

目的： 科学的根拠に基づくケアを実践することにより、入居者様に自分らしく元気に過ごして頂く  
個々の入居者様の必要水分摂取量の把握と、便薬の使用状況の把握

テーマ 「周辺症状のタイプ分け、各々の対応」

「QOLを向上させる介護」

「自立支援介護とは」

「身体機能と活動能力を引き出す介助」 等

・ **事故防止委員会**（毎月開催）

目的： 事故防止に関する指針の見直し

事故報告書とヒヤリハットを活用し、事故防止につなげる

事故を“0”にするのは難しいが、未然に防ぐ為の危険予知を身に付ける

テーマ 「先月の事故報告書の振り返り」

「服薬事故について（服薬介助マニュアルの徹底）」

「ヒヤリハットの検印状況と活用方法について」 等

・ **安全衛生委員会**（毎月開催）

目的

・全職員が安全で衛生的な環境で働けるように

・職場内の危険の察知と、健康障害を防止するための措置の検討

内容		
令和7年度	4月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「ヘルシーснаッキングのすすめ」
	5月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「質の良い睡眠は眠り始めが鍵！」
	6月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「オフィスでできる！こっそりエクササイズ」
	7月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「若さの秘訣は〇〇を鍛えること！」
	8月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「10年後も美しさを保つ『やせ』対策」
	9月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「結核の予防週間」
	10月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「腰痛これだけ体操」
	11月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「仕事の生産性アップの鍵は“睡眠”」
	12月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「今日から実践！スタイルアップの歩き方」
	1月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「特に気を付けたい 女性の健康問題」
	2月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「腸活で心も体も健康に」
	3月	施設内の安全・衛生に関する巡視報告 メンタルヘルスケア「オフィスで簡単ストレッチ」

・週に1回のユニット巡視を実行

キッチン周辺や、リビング等の環境整備を徹底

・ **褥瘡予防委員会**（毎月開催）

目的：褥瘡対策予防の指針の見直し

ブレーデンスケールを活用し褥瘡にならないケアに取り組む

褥瘡発生者の早期発見、早期処置

テーマ 「褥瘡発生者、ハイリスク者の経過報告について」 等

・ **身体拘束廃止委員会**（毎月開催）

目的：身体拘束等適正化のための指針の見直し

身体拘束ゼロを維持していく

スピーチロックの廃止

テーマ 「赤外線センサー使用者への取り組みについて」

「スピーチロックの概要について」 等

・ **苦情解決委員会**（不定期開催）

目的：相談や苦情の内容を精査し、今後の介護サービス提供に活用する

受付件数：令和6年度 0件

令和7年度 0件

・ **感染予防委員会**（3ヶ月に1回開催・感染時期は必要に応じて）

目的：感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための指針の見直し

感染症対策の基礎知識を身に付ける

テーマ 「感染症対策について（新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス等）」

・ **生産性向上委員会**（3か月に1回開催）

目的：業務の効率化とサービスの質の向上。限られた人材・時間・資源を有効に活用できる体制を整えることで、入居者様にとってより安心・快適な生活環境の提供を目指す。

テーマ 「新規ICT導入説明、不具合や調整の必要はないか確認」

「業務の見直し」 等

(2) 設備面（ソフト・ハード）での取り組み

【介護テクノロジー定着支援事業補助金の活用】

本年度は、介護テクノロジー定着支援事業補助金を活用し、ICT機器の整備・更新を実施した。

老朽化していたナースコールの更新、職員用スマートフォンの増設、インカムの導入、ならびに排泄見守り支援機器「トイレDIARY」の導入を行い、見守り体制の強化と業務効率化を図った。

本補助事業を通じて、介護現場における事故予防体制の強化、職員の負担軽減、情報共有の迅速化を実現し、介護の質向上に寄与している。

◆ Wi-Fi 環境の増強工事

ICT 機器の安定運用を目的として施設内 Wi-Fi 環境の増強工事を行い、通信の安定性および接続エリアの拡充を図った。これにより、各種見守り機器やモバイル端末が円滑に作動する基盤を構築した。

◆ ナースコール（ココヘルパ）の入れ替え

老朽化および反応遅延が見られていたナースコール設備を全面的に入れ替えた。居室のナースコールは居室内カメラと連動し、職員が携帯するスマートフォンへリアルタイムで室内状況が映し出される。



併せて職員用スマートフォンも更新し、台数を従来の 2 台から 5 台へ増設。



これにより、

- ・コール対応の迅速化
- ・状況確認後の的確な判断
- ・夜間帯の安全確認強化

が可能となり、見守り体制の強化につながった。

◆ インカムの導入

各フロアに 5 台ずつインカムを導入。

スマートフォンを確認せずとも音声で即時連絡が可能となり、緊急時対応の迅速化を実現した。

また、

- ・フロア間の連携強化
- ・応援要請の即時化
- ・業務効率の向上

といった効果が見られ、職員間コミュニケーションの円滑化にも寄与している。



◆ トイレ DIARY の導入

排泄見守り支援機器「トイレ DIARY」を導入。

特養各フロアに 2 台（計 6 台）、ショートステイに 4 台設置した。本機器は、独歩でトイレへ行かれる方、排泄状況の確認が困難な方についても、入室や排泄の開始・終了を自動検知し、タイムリーに職員へ通知する。

また、尿量や便の状態を自動で記録し、確認漏れを防げる。

これにより、転倒事故の予防、排泄状況の客観的把握、個別ケアの質の向上につながっている。



【公式 LINE の導入】

施設（特別養護老人ホーム・ショートステイ）とデイサービスの 2 種類で開設。

写真共有や面会予約等に活用し、情報発信の充実と利便性向上に取り組んだ。

(3) 看取りケア体制の強化・・・看護師、介護支援専門員

- ◆ 看取りケア体制の構築・強化を図り、その人らしい最期を迎えられる取組み
  - ・ 他職種と連携し、積極的な看取りの受け入れの実施と施設内研修の開催。
  - ・ その人らしい最期を迎えられるよう、ユニットミーティング等でも話し合い、最期に何が出来るかを模索し、その人に寄り添ったケアの提供に努めた。
  - ・ 看取り終了後、亡くなった方のデスカンファレンスを行い、「何が出来て、何が出来なかったのか」を検討し、次の看取りケアに活かせる取り組みの実施。
  - ・ 看取り中の入居者様の治療に関して、多職種でカンファレンスを行い、よりご本人やご家族の意向が反映されるよう努めた。
  - ・ 眠りスキャンを活用し、呼吸数やバイタルの観察を強化。

人員の少ない夜間帯でも、状態の変化に気づき、最期まで寄り添えるように努めた。

年間看取り実施者数 令和 6 年度…………… 17 名

令和 7 年度…………… 12 名

看取りアンケート…令和 7 年度は 12 名に送付し、6 名から返信。

－ ほうらい苑退居後アンケート －

No	質問事項	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
①	職員の身だしなみは清潔感がありましたか？	0	0	0	0	0
②	質問事項	とても丁寧	丁寧	普通	丁寧でない	失礼
	職員の言葉遣いや立振舞い 電話応対などは丁寧でしたか？	4	1	0	0	0
③	質問事項	とても清潔	清潔	普通	やや清潔でない	不潔
	施設内は清潔でしたか？	5	1	0	0	0
④	質問事項	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
	施設内設備についての印象はいかがでしたか？	5	1	0	0	0
⑤	質問事項	とてもできる	できる	普通	あまりできない	できない
	相談事や健康状態について職員に気軽に相談できる環境でしたか？	4	1	1	0	0
⑥	質問事項	よくしてくれました	してくれました	普通	あまり迅速でなかった	迅速でなかった
	入居者様や家族様の意向を聞き入れて迅速に対応してくれましたか？	6	0	0	0	0
⑦	質問事項	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
	健康状態の変化時やケガ等の連絡対応は適切でしたか？	6	0	0	0	0
⑧	質問事項	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
	看取り期の説明や、対応は適切でしたか？ (医師・相談員・看護師・介護士)	5	0	0	0	0
⑨	質問事項	とても良かった	そう思う	普通	あまり思わない	思わない
	ほうらい苑を利用して良かったと思いますか？	6	0	0	0	0
⑩	質問事項	もちろん勧める	勧めると思う	聞かれれば勧める	あまり勧めない	お勧めしない
	ほうらい苑を知人に勧めようと思いますか？	5	1	0	0	0

#### (4) 人材確保・職場環境改善の取り組みと実績

##### ◆ 人材確保に関する取り組み

- ・ ホームページへの様々な取り組みやイベント情報、求人募集の定期的なアップ
- ・ アイテムへの掲載（折り込み・ネット）
- ・ Instagram、TikTok の定期的な更新
- ・ 扶養手当支給額の充実（18歳未満の子に限り）  
扶養配偶者あり 1人につき 15,000 円/月（人数制限なし）  
配偶者なし（扶養なし含む） 1人につき 15,000 円/月（1人のみ、それ以外 10,000 円）
- ・ 特別手当の充実（シングルマザー・ファザーサポート手当）  
介護職に従事している正職員対象 18歳未満の子に限り 20,000 円
- ・ 職責手当の充実  
G1 10,000 円/G2 20,000 円/G3 30,000 円
- ・ 資格手当の充実  
初任者研修修了者 5,000 円/実務者研修修了者 8,000 円/介護福祉士 15,000 円

##### ◆ 職場環境の改善、福利厚生の実施に関する取り組み

- ・ 健康経営優良法人 2026（中小規模法人部門）の認定を取得。  
職員の心身の健康を重要な経営資源と捉え、働きやすい職場環境づくりに努めた。  
健康診断の充実、ストレスチェックの実施、ワークライフバランスの推進、感染症予防対策の強化など、健康増進に向けた施策を幅広く実施。施設内にジムスペースを設け、職員が適度な運動を行える環境を整備。あわせて、禁煙促進策として、禁煙者に対し月額 3,000 円の手当を支給。  
今後も、職員一人ひとりが健康で安心して働ける職場づくりに向け、継続的に取り組んでいく。
- ・ 職員面談の実施（年 2 回）
- ・ 1F Cafe Plage(プラージュ) にて軽食や理美容の職員割引制度
- ・ クリスマスプレゼント ・ 豪華お弁当（ホテルアバローム内 六つ葵）
- ・ インフルエンザワクチン接種 ・ 職員参加の BBQ 開催

##### ◆ ハラスメント対策の強化

- ・ 「介護現場におけるハラスメントについて」マニュアルの作成、導入
- ・ 重要事項説明書への明記
- ・ 施設内の各部署にポスター掲示

##### ◆ 人材確保に関する実績

- ・ 令和 7 年度採用者数 **8 名** 施設見学者数 **20 名**
- ・ 就職フェア参加回数 3 回（問合せ 1 名 採用者数 0 名）
- ・ 紹介による問合せ **4 件** 採用者数 **4 名**
- ・ ハローワークからの求職者数 **4 名** 採用者数 **1 名**
- ・ 求人募集サイト アイテム 問合せ **5 件** 採用者数 **1 名**
- ・ ホームページからのお問合せ **1 件** 採用者数 **0 名**
- ・ SNS（インスタグラム・TikTok）からの問い合わせ **5 件** 採用者数 **2 名**

・ 新人オリエンテーションの実施

オリエンテーション内容一覧

	テーマ
1	配属先・勤務形態について
2	ユニットケアマニュアル ・24Hシート・ケース記録・生活表 ・自立支援介護（科学的根拠に基づくケア）について
3	新人研修マニュアル ・基本理念・行動指針・組織概要 ・組織図・役割 ・個人情報保護法について ・各会議・委員会・キャリアパス制度
4	高齢者虐待防止・人権擁護について
5	介護職員待遇マニュアル
6	服務規律（第5章）
7	看護・介護マニュアル（p1～p57） ・介護・看護職員の心得・接遇・食事介助・服薬介助・口腔ケア ・入浴介助・排泄介助・移動、移乗介助・認知症ケア・介護事故防止
8	一言声掛け・応答へのアドバイス
9	指導職員ノート・新人チェックリスト
10	（早出・遅出・夜勤）チェックシート・試用期間評価表
11	事故報告書・ヒヤリハットについて
12	服薬チェックシートについて
13	その他（ユニットケア教材DVD視聴と質疑応答）

◆ 福利厚生に関する実績

項目	令和5年度	令和6年度	令和7年度
有休休暇取得率	76.4%	77.3%	79.7%
バースデイ休暇取得率	100.0%	100.0%	100.0%
3年勤続表彰者	4名	4名	4名
6年勤続表彰者	3名	4名	5名
10年勤続表彰者	3名	4名	1名
15年勤続表彰者	1名		4名
新人職員入職者数	正:6名 パート:2名	正:6名 準:1名 パート:3名	正:6名 パート:2名
職員定着率	100%	100%	100%
退職者数	正:7名 パート:3名	正:5名 パート:2名	正:5名 パート:2名
平均勤続年数	6年7カ月	6年8カ月	7年
男女構成比	男性2.9割:女性7.1割	男性3割:女性7割	男性2.8割:女性7.2割

※職員定着率は令和8年3月31日時点での従業員数/令和7年4月1日時点での従業員数で算出しています。

◆ 資質向上に関する取り組みと実績

◎ 部門別有休取得率

部門	令和5年度	令和6年度	令和7年度
特養・ショート	67.3%	78.9%	76.9%
デイサービス	80.6%	72.4%	83.5%
事務・居宅	98.5%	79.0%	78.6%
看護・OT	91.9%	68.9%	79.7%
洗濯	76.0%	76.3%	90.6%

・ 法人補助金制度活用者

初任者研修受講者 0名

実務者研修受講者 1名

- ・ 介護福祉士合格者数 2名
- ・ リーダー会議の開催 12回
- ・ 施設内研修開催 12回
- ・ 施設外研修参加 12回

◆ 新人指導に関する取り組み

- ・ 移乗研修、排泄ケア研修、感染症研修を OJT の一環として実施

移乗研修：基本動作の介助技法、褥瘡予防（担当：機能訓練指導員）

排泄ケア研修：排泄ケアの考え方や排泄用品の選定、排泄手順の実践（担当：ユニットリーダー）

感染症研修：感染対策の考え方や対応の仕方、実戦での活かし方（担当：看護師）

- ・ OJT 計画書の導入
- ・ 新人指導ノートの活用
- ・ 新人指導チェックシートの活用

◆ 施設外研修一覧表

開催日	開催時間	内容	参加者	会場
4/11(金)	13:00-15:00	介護支援専門員ネットワーク会議 『介護保険を利用したの徘徊探知機・GPS 見守りとは』	城山 卓也 出口 能子	秋葉山公園県民水泳場・B1会議室
6/26～10/24の で9日間	9:00-17:00	令和7年度 和歌山県主任介護支援専門員 更新研修	城山 卓也	※zoomにて自宅より受講
6/23(月)	13:00-15:00	介護支援専門員ネットワーク会議 『縮まって何?』	城山 卓也 出口 能子	紀ノ国住宅南コミュニティセンター
6/9～10 6/24～27		ユニットリーダー講習	小阪 弥由	京都テルサ グリーンハウス (大阪府堺市)
8/25(月)	14:00-16:00	介護支援専門員ネットワーク会議 『自立支援型地域ケア会議を身近に・Ⅱ』	城山 卓也 出口 能子	紀ノ国住宅南コミュニティセンター
9/26.27	10:00～16 : 00	高齢者の権利擁護等推進事業看護実務者研修	藤原 昌子	和歌山県看護協会研究センター
9月～11月		認知症介護実践研修 (実践リーダー研修)	西谷 眞澄	県民交流プラザ和歌山ビッグ愛
10/30	13:30～15:00	介護支援専門員ネットワーク会議 『悪徳商法、手口を知って被害を防ごう』	城山 卓也	秋葉山公園県民水泳場・B1会議室
12/10	13:00～15:00	病院勤務以外の看護師等認知症対応力 向上研修	藤原 昌子	和歌山県看護研修センター
1/29	14:00～16 : 30	雇用労働分野の重要な法改正と 企業に求められる対応	中島 晶絵	動画にて
2/27	13:30～15:00	国の補正予算案及び介護報酬改定等について	西村 佳寿美	ビッグ愛 9階 C会議室
3/24	13:30～16 : 40	令和7年度 施設長・管理者研修	城山 卓也 張 雷雷	ホテルアバローム紀ノ国

◆ 施設内研修一覧表

令和7年度	4月	人権擁護・虐待防止・身体拘束①	人権擁護について学ぶ・・・村田介護支援専門員 ・人権擁護の重要性 ・虐待や身体拘束を防ぐ為に
	5月	認知症ケア・精神的ケアに関する研修	認知症・精神的ケアについて・・・板原機能訓練指導員 ・認知症ケア、精神的ケアへの理解 ・適切なケアとは
	6月	感染症対策①	食中毒について・・・石橋生活相談員 ・ユニットケアでの食中毒発生の原因について ・蔓延防止について
	7月	リスクマネジメント（事故防止）①	リスクマネジメントについて・・・矢部デイ相談員 ・リスクマネジメントについて ・事故の再発防止について
	8月	記録の書き方に関する研修	適切な記録の書き方について・・・城山管理者 ・記録保持の重要性 ・適切な記録の書き方を理解する
	9月	人権擁護・虐待防止・身体拘束②	身体拘束について・・・村田介護支援専門員 ・身体拘束について ・高齢者虐待防止法について
	10月	感染症対策②	感染症対策について・・・藤原看護リーダー ・高齢者施設における感染対策 ・スタンダードプリコーションについて
	11月	コンプライアンス研修	個人情報・ハラスメントについて・・・城山管理者 ・福祉職に求められる法令遵守の重要性について
	12月	BCPの対応に関する研修	BCPについて・・・中島施設主任 ・非常災害時のBCP ・避難経路の確認
	1月	リスクマネジメント（事故防止）②	事故防止・事故後の対応について・・・矢部デイ相談員 ・介護事故とは ・情報共有について
	2月	褥瘡に関する研修	褥瘡予防について・・・石橋生活相談員 ・褥瘡について ・予防に向けての適切な援助
	3月	看取りに関する研修	看取り介護について・・・藤原看護師 ・本人様、家族様の終末期の心身状態 ・介護職員として最期に何をしたいか

(5) 居宅介護支援事業所の取り組み

- ◆ 地域における公益的な取り組みと実績・・・居宅管理者
  - ・ 社会福祉法人に求められる「地域における公益的な取り組み」を実施していくにあたり、地域住民の福祉ニーズの把握や今後の交流を深めていく場として開催
  
- ◆ 公益的な事業の目的
  - ・ 制度の狭間にある解決困難事例にも相談対応していくといった意味合いを含み、社会福祉法人として高齢介護以外の分野に限らず、地域住民の居場所としての役割を果たしていくことを目的とします
  - ・ 地域住民とのかかわりを深め、互いを認知し互いを知っていくことを当面の目標とし、今後も継続して行っていくものとします
  
- ◆ 居宅会議開催について（毎月開催）
  - 目的： 自施設及び他事業所との連携、介護サービス導入をスムーズに行う
  - 内容： 実績報告、営業報告について  
自法人在宅部門への実績報告と要望  
公益事業開催に関する地域福祉ニーズ把握 等

(6) デイサービスの取り組み

- ◆ デイ会議開催について（毎月開催）
  - 目的： デイサービスの安定経営と質の高い介護サービスの提供を目指す
  - 内容： 前月の実績報告と当月の活動予定について  
利用者様個々のケースカンファレンスについて  
各委員会、会議出席者からの報告  
翌月のレクリエーション予定について
  
- ◆ 運営推進会議開催について
  - 目的：利用者、区市町村職員、地域住民の代表者等に対し、提供しているサービスの内容等を明らかにすることにより、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質を確保することを目的として開催。期間は概ね6ヶ月に1回開催
  - ※令和7年度は9月・3月の年間2回の開催
  - 内容：
    - ・日常のサービス提供状況やイベント等の開催状況
    - ・事故やヒヤリハットの発生状況と今後の事故防止に向けた取組
    - ・利用者の健康管理や防災にかかる事業所の取組
    - ・地域連携の取組に関する報告 など

◆ 感染症対策について

- ・ 送迎前後の送迎車両内のアルコール消毒
- ・ 送迎前の検温
- ・ 定期的な換気
- ・ オゾンを活用した空気洗浄
- ・ テーブル、椅子等、こまめな消毒

◆ 入浴介助研修実施について

- ・ 入浴介助加算 I（40 単位）の算定要件となる入浴介助における研修を、入浴介助を行う全職員に対して年間一回の研修を義務付けることとして、令和 6 年度より年間 1 回実施。

デイサービス年間行事実績一覧表

内容

令和 7 年 度	4月	お花見 外食（はま寿司）
	5月	行楽弁当
	6月	外食（はま寿司）
	7月	ショッピング（しまむら） 手作りおやつ（かき氷）
	8月	夏祭り
	9月	外出（近代美術館） 敬老会
	10月	運動会 秋のおやつの日
	11月	外出（御手洗池） はま寿司
	12月	カラオケ紅白歌合戦 朋友（ぽんゆう）の会、クリスマス会
	1月	初詣 新年会（鍋・催し物）
	2月	手作りおやつ（パンケーキ） 節分行事（巻き寿司・豆まき）
	3月	行楽弁当 カラオケ紅白歌合戦

(7) ボランティア・実習生受入れ状況一覧表（学生及び一般）・・・介護支援専門員

	氏名	期間	備考
1	村山氏	令和7年8月18日	職場体験・職場見学
2	神田氏	令和7年8月18日～8月22日	教員免許取得のため
3	内藤氏	令和7年8月18日～8月22日	教員免許取得のため
4	赤根氏	令和7年8月25日～8月29日	教員免許取得のため
5	平岩氏	令和7年8月25日～8月29日	教員免許取得のため
6	木村氏	令和7年9月1日～9月5日	教員免許取得のため
7	喜多氏	令和7年9月1日～9月5日	教員免許取得のため
8	須賀氏	令和7年9月8日～9月12日	教員免許取得のため
9	南氏	令和7年11月10日	障害者雇用制度
10	細野氏	令和7年3月9日	職場見学・職場体験

(8) その他

◆ 年間面会者数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
面会者数	1375名	1325名	2572名
月平均	114名	110名	214名
面会の多かった月	12月	6月	12月